

平成 30 年 9 月 1 日

保護者各位

黒野こども園

9月えんだより

今年の夏と言えば、記録的な豪雨にはじまり、次には「猛暑」、そして台風の到来とかつて経験の無いような気象状況が続いてきました。7月の中旬以降に始まった「猛暑」では、熱中症になる危険も高く、さすがに外遊びも控えなければならない日々が続きました。この影響か今年の7月はエアコンの稼働時間がさすがに多かったのか、この時期としては光熱費が過去最高記録を更新しました。畑の野菜も暑さに耐えきれず枯れてしまいました。この豪雨による影響が野菜が高騰し、給食費にも影響を及ぼしています。

もちろん家計を預かるお母様方にも大きな負担となっていることでしょう。既に夏野菜が高騰しているようですが、今後の野菜の生育状況が家計へ影響しなければと懸念されることです。

さて、プール遊びが終わると、いよいよ10月の運動会へ向けての取り組みが増えていきます。

乳幼児期に育てなければならない力に「健康な身体」、「協同性」が揚げられています。スポーツの秋、身体作り、みんなで演技に取り組むことを通して育てたいと願っています。

昨年より、年長、年中組は毎日体操をしています。ゲーム形式、遊びの要素を取り入れた運動遊びを遊戯室でおこなっています。俊敏な動き、バランス感覚といった部分を高め、怪我をしない身体作りにも取り組んでいます。そこで育った力を運動会では披露してくれるものと期待しています。



将来を見据えた教育

(日本の教育が目指す方向性)



この夏の期間を利用して、職員は 30 時間の幼稚園教諭の免許更新、幼保小合同の研修会、キャリアアップ研修等に参加しています。

これらの講習の中では、新たな学習指導要領の解説が行われています。

中教審の答申を受け、既に幼保連携型認定こども園では新認定こども園教育・保育要領による教育・保育が行われていますが、今後、2020 年には小学校、2021 年には中学校と新学習指導要領による教育がスタートします。

大きな方向性としては、「2030 年とその先の社会の在り方を見据え、いま子ども達に求められる資質・能力が何かを学校と社会が共有・連携しつつ育成する」ということを言っています。

つまり、加速する AI 技術革新、既存の社会で起きている諸問題など、これからの社会を見据えながら世の中の課題点を学校と社会が共有認識を持ち、教育も柔軟に軌道修正しながらより良い社会の実現に向け取り組める教育課程としましょうと言うことです。

そのために教育活動の改善・向上を図る「カリキュラムマネジメント」の実現。さらに、子ども達が、学習内容を人生や社会の在り方と結びつけて深く理解し、これからの時代に求められる資質・能力を身につけ、生涯にわたって能動的に学び続けることができるようにするには「主体的・対話的で深い学び」、いわゆる「アクティブ・ラーニング」の視点にたった改善が必要であるとしています。

この中央教育審議会の答申の中で、教育全般に「生涯にわたって学び続ける力、主体的に考える力を持った人材は、学生からみて受動的な教育の場では育成することができない。従来のような知識の伝達・注入を中心とした授業から、**教員と学生が意思疎通を図りつつ、一緒になって切磋琢磨し、相互に刺激を与えながら知的に成長する場を創り、学生が主体的に問題を発見し解を見出していく能動的学習（アクティブ・ラーニング）への転換が必要である**」と言っています。

今まで学校教育で行われてきた、知識詰め込み型から子どもが主体となって学ぶ方向へ転換が必要であると言っているのです。

いまやインターネットの普及が、知識はいつでも必要な時にいつでも活用できる環境にあることも大きな理由なのかも知れません。そんな時代を子ども達が生きてゆくには、**生涯に亘って学び続ける力、主体的に考える力**が必要となってくると考えられています。第 4 次産業革命と言われるぐらい、常に頭を働かせていないと世の中の流れについて行けない時代がやってくることを意味しています。

では、幼児教育はどうあるべきなのでしょう。

改訂された幼稚園教育要領、保育所保育指針、教育・保育要領等ではこのように表現されています。

幼児教育においては、幼児期の特性から、この時期に育みたい資質・能力は、小学校以降のような、いわゆる**教科指導で育むのではなく、幼児の自発的な活動である遊びや生活の中で、美しさを感じたり、不思議さに気付いたり、できるようになったことなどを使いながら、試したり、いろいろな方法を工夫したりすることを通じて育むことが重要である**。このため、資質・能力の三つの柱を幼児教育の特質を踏まえ、より具体化すると、以下のように整理される。



- (ア) 知識や技能の基礎（遊びや生活の中で、豊かな体験を通じて、何を感じたり、何に気付いたり、何がわかったり、何ができるようになるのか）
- (イ) 思考力・判断力・表現力等の基礎（遊びや生活の中で、気付いたこと、できるようになったことなども使いながら、どう考えたり、試したり、工夫したり、表現したりするか）
- (ウ) 学びに向かう力、人間性等（心情、意欲、態度が育つ中で、いかによりよい生活を営むか）

幼児教育の特質から、幼児教育において育みたい資質・能力は、個別に取り出して身に付けさせるものではなく、遊びを通しての総合的な指導を行う中で、「知識や技能の基礎」、「思考力・判断力・表現力等の基礎」、「学びに向かう力、人間性等」を一体的に育てていくことが重要である。

黒野こども園ではこの改訂を見据え3年以上前から教育・保育の見直しを行ってきました。乳児の担当制をはじめとして子どもが主体的に取り組める活動空間を整備してきました。

ここで問題となってきたのが行事の捉え方です。行事が多い環境では、子ども達が主体的に取り組む時間の確保が制限されてしまいます。例えば運動会を例にとれば、以前年長は、種目として鼓笛隊、ハンドベル、組立体操、リレーと4種目に取り組んできましたが、これだけの事を実施するにはかなりの練習期間が必要となり、8月以降は毎日のようにながしかの練習をしている毎日でした。

観客の立場からすれば、すばらしい我が子の演技を見ることができるとは、かなりの満足度が得られることでしょう。しかし、子どもにしてみればやりきった達成感は得られるのでしょうか、一斉に練習をすることとなり、個々の活動をやる時間が確保できないこととなります。

そんな状況を変えるために一つ一つの行事の取り組みを検証しつつ廃止、改革をしてきている現状です。

保護者の方には、背景にこのような考えがある中で行事であることを理解していただいたいと存じます。運動会もそんな取り組みのなかで行っていく行事の一つです

また、これから学校教育にむけ、どう繋がりをしていくのかも課題になってくるでしょう。教育全般として学校、家庭でも理解しておくことを示しておきます。

社会状況の変化等による幼児の生活体験の不足等から、基本的な技能等が身に付いていなかったり、幼稚園教育と小学校教育との接続では、子供や教員の交流は進んできているものの、**教育課程の接続が十分であるとはいえない状況**であったりするなどの課題も見られる。

- ※ 遊んでいない（子どもの生活の主体は遊び）
- ※ 基本的な生活習慣が身につけていない（食事、排泄、着替え、挨拶・・・）
- ※ 幼稚園、保育園、認定こども園で何を学ばせるべきか。小学校教育を前倒して行ってきたことが、結果的に主体性、自立心、自ら学ぼうとする力を低下させる結果になっている。

近年、国際的にも忍耐力や自己制御、自尊心といった社会情動的スキルやいわゆる非認知的能力を幼児期に身に付けることが、大人になってからの生活に大きな差を生じさせるといった研究成果をはじめ、幼児期における語彙数、多様な運動経験などがその後の学力、運動能力に大きな影響を与えるといった調査結果などから、**幼児教育の重要性への認識が高まっている**。

- ※ 遊び＝楽しい＝楽しいから続けられる（持続力、忍耐力）・楽しいから集中できる
- ※ 自分のしたい活動をする＝主体的に物事に取り組む＝好奇心・集中力・探求心
- ※ 他者の遊びに関心＝「やってみよう」「やらせてほしい」＝つながり
- ※ **英語ができる、計算ができる、文章が書ける＝これは質の高い教育とは言えない（単位的に学習するのでは無く、遊びを通して理屈を理解できる学び方が重要）**
- ※ **総合的に学べるために遊びが必要**

行事予定

4日(火)	身体測定(年少)	21日(金)	身体測定(0歳児、2歳児)
5日(水)	身体測定(年中)	22日(土)	西郷・網代・方県小学校運動会
	避難訓練	23日(日)	秋分の日
7日(金)	プール納め	24日(月)	振替休日
13日(木)	身体測定(年長)	27日(木)	運動会総練習
17日(月)	敬老の日	28日(金)	運動会総練習
19日(水)	総合避難訓練(引き渡し訓練)	29日(土)	黒野小学校運動会
20日(木)	身体測定(1歳児)		

健診のお知らせ

<4ヶ月児健康診査>

平成30年 5月生まれ

中市民健康センター 平成30年9月18日(火)
 南市民健康センター 平成30年9月25日(火)
 北市民健康センター 平成30年9月11日(火)
 (1日~15日生まれ) 受付時間: 午前9時~10時30分
 (16日~月末生まれ) 受付時間: 午後1時~2時30分
 東部コミュニティーセンター 平成30年9月12日(水)
 もえぎの里 平成30年9月28日(金)
 西部コミュニティーセンター 平成30年9月14日(金)
 受付時間: 午後1時~午後2時

<10ヶ月児健康診査>

平成29年 11月生まれ

中市民健康センター ①平成30年9月4日(火) ②平成30年9月26日(水)
 南市民健康センター ①平成30年9月5日(水) ②平成30年9月14日(金)
 北市民健康センター ①平成30年9月3日(月) ②平成30年9月21日(金)
 ①(1日~15日生まれ) ②(16日~月末生まれ)
 受付時間: 午後1時~2時30分

<1歳6ヶ月歯科健診と育児教室>

平成29年 2月生まれ

中市民健康センター 平成30年9月13日(木)
 南市民健康センター 平成30年9月20日(木)
 北市民健康センター 平成30年9月27日(木)
 受付時間: (1日~15日生まれ) 午前9時~10時30分
 (16日~月末生まれ) 午後1時~2時30分

<3歳児健康診査>

平成27年 8月生まれ

中市民健康センター 平成30年9月7日(金)
 南市民健康センター 平成30年9月6日(木)
 北市民健康センター 平成30年9月19日(水)
 受付時間: (1日~15日生まれ) 午前9時~10時30分
 (16日~月末生まれ) 午後1時~2時

東部コミュニティーセンター 平成30年9月12日(水)
 もえぎの里 平成30年9月28日(金)
 西部コミュニティーセンター 平成30年9月14日(金)
 受付時間: 午後1時30分~2時30分

持ちもの: 母子健康手帳

該当する方は進んで健診を受けましょう。病気になってしまったら翌月でも受けられます。

<幼児歯科薬物塗布>

中市民健康センター 平成30年9月11日(火)
 南市民健康センター 平成30年9月18日(火)
 北市民健康センター 平成30年9月25日(火)



日程は「広報ぎふ」「岐阜市ホームページ」等でもお確かめ下さい

☆栄養士より☆ わくわく食育

毎月、その時季の食材をピックアップ! 食材から季節を感じられるといいですね。

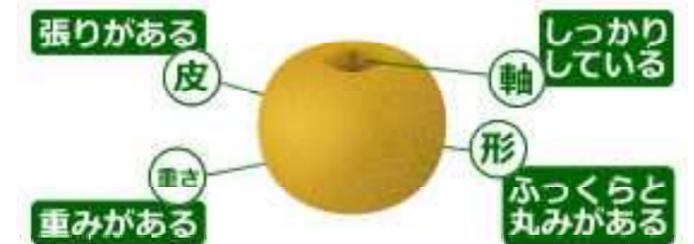
梨

梨の旬は秋です。梨には「赤梨」と「青梨」があります。赤梨は「豊水」や「幸水」などの果皮が茶色いもので、青梨は「二十世紀」のような果皮が緑色の梨です。



おいしい梨の選び方

形がよく果皮に張りがあり、同じ大きさなら重みがあるものが良い。また、軸がしっかりとて果皮に色ムラがなく、お尻がふっくらとして広いものがよいでしょう。



梨の豆知識

梨は枝側よりもお尻の方が甘い傾向にあります。また、種に近い中心より皮に近い方が糖度が高くなっています。

梨の栄養

梨には、解熱効果のある栄養があります。また、カリウムも含まれていて、カリウムは汗と共に流出しがちなので、残暑で汗をかいた時には水分と共に補給できます。